

SSES 報告書公表スケジュール

1 国際報告書（第1弾） 令和6年4月26日公表
及び参加国・都市別報告書
（社会情動的スキルと、個人・家庭・学校の特徴との関連について）

 2 **国際報告書（第2弾）** 令和6年10月24日公表
及び参加国・都市別報告書
（社会情動的スキルの促進と、学校、家庭、社会との関連について）

3 ショートレポート 令和7年3月までに公表

- 1. 学校での社会情動的教育**
- 2. 社会情動的成長を育む学校環境**
- 3. ジェンダー平等への取組**

1. 学校での社会情動的教育

2. 社会情動的成長を育む学校環境

3. ジェンダー平等への取組

学校での社会情動的教育

特筆したものの以外の分析は、群馬県も他の地域とほぼ同様の傾向

教師のフィードバック **多**

関連

社会情動的技能 **向上**

群馬県の特徴：教師のフィードバックが、「達成動機」に偏らずに「共感」と両方を促進しているのは群馬のみ。

社会情動的教育を、一般的な実践や教科横断の取組に統合している

一方で

社会情動的技能の教育可能性や広範な影響、SELへの教師の果たすべき役割に関する共通理解が進んでいない

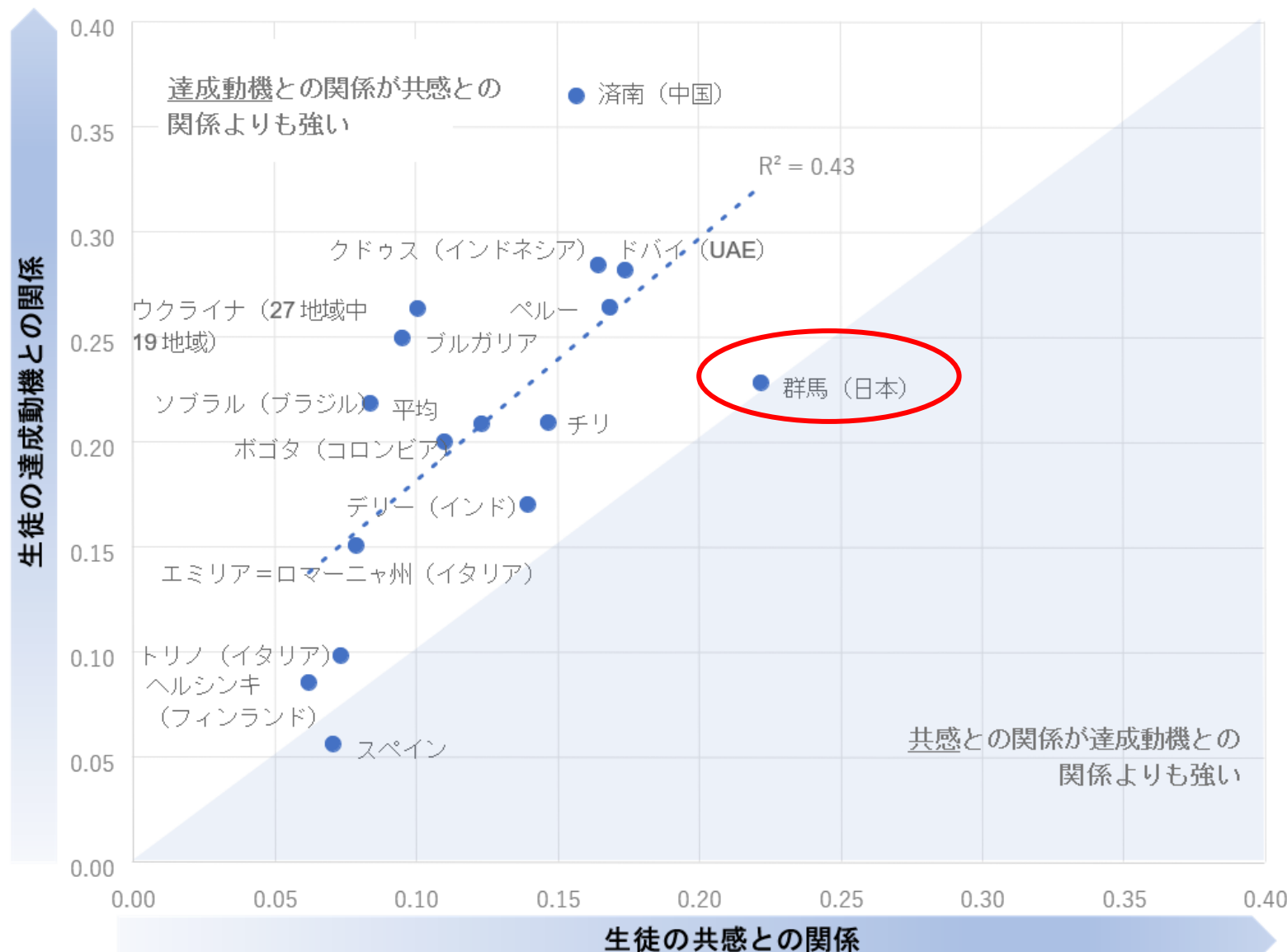
群馬県の特徴：①社会情動的技能の広範な影響について、全ての教員と学校長が認識している学校が少ない。
②教員の20%以上が、教員がこの社会情動的教育に責任を負うべきであると考えていなかった。

課外活動への参加生徒

関連

社会情動的技能 **好影響**

⇒ 社会情動的教育を促進する構造や意識を高め、教師を支援することが必要

教師のフィードバックと、生徒の「共感」・「達成動機」との関係

社会情動的スキルが以下の2点に影響を及ぼすことについて

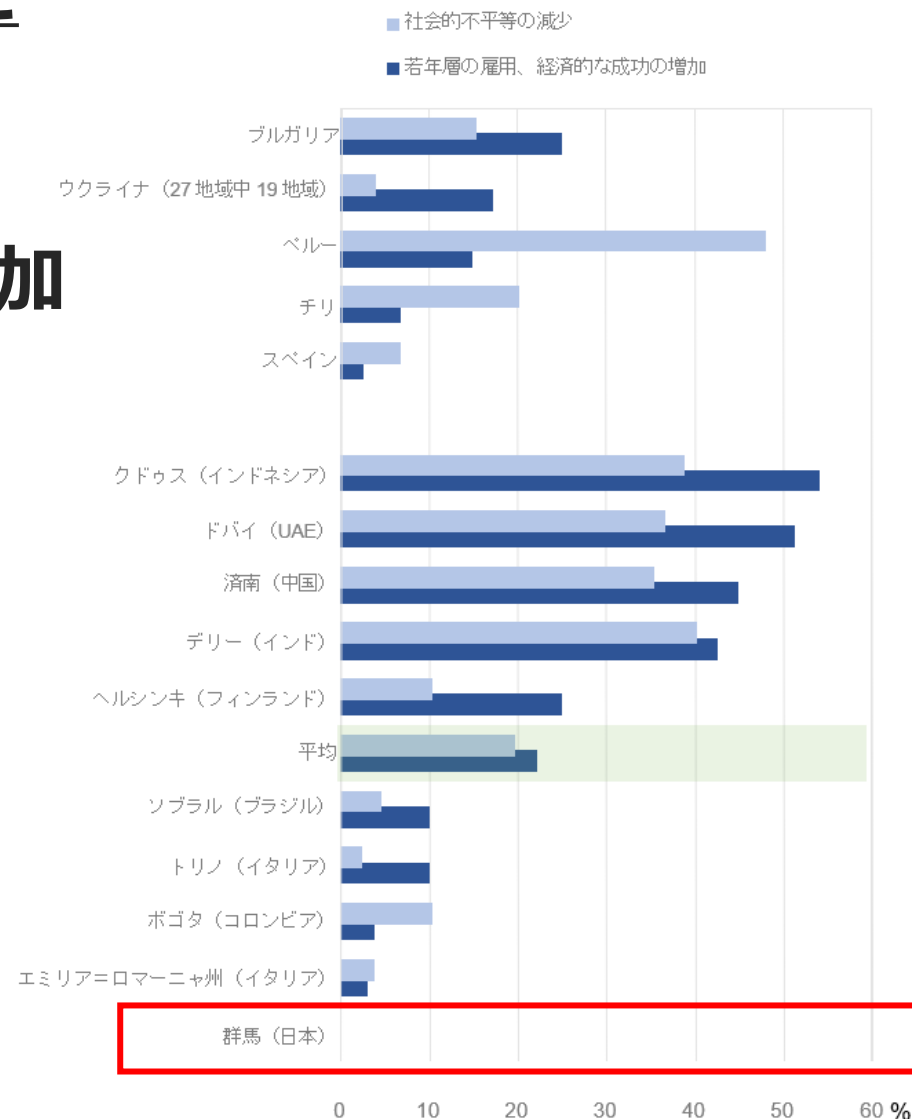
- 社会的な不平等の減少
- 若年層の雇用、経済的な成功の増加

全ての教員と学校長が
「（強く）同意する」と回答した割合

群馬県の状況

教員と学校長の全員が「（強く）同意する」と回答している学校がない。

→社会情動的スキルが及ぼす影響についての学校内での
共通認識を図ることが重要



1. 学校での社会情動的教育
- 2. 社会情動的成長を育む学校環境**
3. ジェンダー平等への取組

社会情動的成長を育む学校環境

群馬県も同様の傾向

学校への帰属意識
ポジティブな感情

高

関連

感情抑制のスキル

（ストレス耐性、楽観主義、感情コントロール）

高

⇒ 学校をコミュニティのハブに位置づけることが必要

前向きで支援的なコミュニティの一員であると感じる生徒は、協力姿勢と学習意欲が高く、自分の願望や意見を表現しやすくなり、失敗や不安、ストレスにも対処しやすくなる。

教師との関係

良好

関連

すべての社会情動的スキル

特に達成動機、ねばり強さ、好奇心、楽観主義

高

仲間との関係

良好

関連

感情抑制のスキル

（ストレス耐性、楽観主義、感情コントロール）

高

※いじめとの関連：被害者または加害者またはその両方は責任感、感情コントロール、信頼が低い。
加えて被害者は、ストレス耐性、楽観主義、活発さが低い。

⇒ スキルを伸ばすためには、良好な関係作りが重要

社会情動的成長を育む学校環境

群馬県も同様の傾向

女子生徒や
成績不良の生徒

関連

帰属意識、ポジティブな感情 **低**

恵まれない立場にある生徒

関連

帰属意識 **低**

群馬県の特徴：経済的に不利な生徒にこうした傾向は強く見られない

⇒ 不利な状況のある生徒への様々な状況の改善

多くの地域で「教師の効果的なストレス対処の対策がとられている」と回答している教師が少ない

⇒ 教師のストレス軽減と効果的なストレス対処により、教師の社会情動的スキルとウェルビーイングを向上させることが必要

教師のウェルビーイングが向上し、教師がポジティブな感情抑制のモデルとなることで、より支援的な学習環境が生まれ、生徒にとっても好影響

1. 学校での社会情動的教育
2. 社会情動的成長を育む学校環境
- 3. ジェンダー平等への取組**

ジェンダー平等への取組

ジェンダーステレオタイプ

少

関連

家庭内の家事分担

平等

関連

忍耐力(寛容性)・感情コントロール

高

※「家事分担が平等」と回答した生徒は、忍耐力（寛容性）、信頼、感情抑制、作業の成果のスキルが高い傾向

群馬県の特徴：「家事は一般的に家族の女性の責任」との回答が多い

「男子の方が女子よりもテクノロジーが得意」と思う生徒の割合は、女子が14%であったのに対して、男子は34%であった。

群馬県の特徴：「男子の方が女子よりもテクノロジーが得意」と思う生徒の割合において男女に大きな差がない（詳細は次ページ）

⇒ **ジェンダーに関するステレオタイプを是正することが必要**（学校はそれに挑戦できる絶好の場所）
多様なキャリアの追求を奨励することが必要

「男子が女子よりもテクノロジーが得意」というジェンダーステレオタイプに関する質問において

15歳児が「（強く）同意する」と回答した割合

群馬県の状況

男子は他国に比べて割合が低く、一方で女子は高い

他 国：男子 60%超～30%が多い

女子 20%以下が多い

群馬県：男女ともに20%後半

